

第4次白岡市男女共同参画プランに
掲げる施策推進のための取組に係る
平成30年度実績報告書

白岡市地域振興課

第4次白岡市男女共同参画プランに掲げる施策推進のための取組に係る平成30年度実績報告

基本目標1 男女共同参画の意識づくり

主要課題1 男女平等意識の浸透と定着

(1) 固定的な性別役割分担意識の解消

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
1	男女共同参画の視点に立った社会通念・慣行の見直し	固定的な性別役割分担意識に基づく家庭や地域における慣習、社会制度の是正に向け、市民・事業者に向けた啓発・情報提供を行います。	全庁	秘書広報課	○広報紙、公式ホームページ、SNSなどにより、男女の多様なイメージの浸透に係る情報発信を行うよう努めている。 ○広報しらおか(平成30年9月号(20, 100部発行)、平成31年3月号(20, 200部発行))で、男女共同参画の視点に立った記事「ハーブティ」を掲載した。	○	○	B
			地域振興課	地域振興課	○固定的な性別役割分担意識にとらわれない意識が浸透するよう、広報紙・パネル展等において、意識啓発を行った。 ・男女共同参画パネル展 年4回実施 市民ラウンジにおいて、「統計に見る仕事と生活のいま」(6/20～6/27)、「荻野吟子の生涯」(7/20～7/27)、「知っていますか？デートDV」(11/13～11/22)、「わたし」の防災対策」(3/5～3/15)を展示した。	○	○	B

(2) 男女共同参画の視点に立った情報の提供、広報活動の充実

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
2	男女共同参画に関する啓発の充実	家庭、地域、職場等における男女平等や男女共同参画に関する意識啓発、情報提供をさらに進めるために、市民の編集委員によるしらおか男女共生広報紙「ハーブティ」の発行や啓発活動を継続的にを行います。	地域振興課	地域振興課	○公募編集委員による広報紙『ハーブティ』を発行し、さらなる男女共同参画の意識啓発、情報提供を行った。 ・広報しらおか9月号に第40号「ジェンダーってなあに?」、3月号に第41号「聞いてみました! あれが、うわさのおやじの会」を掲載した。	○	○	A
3	男女共同参画に関する講座・講演会等の実施	男女共同参画意識の啓発、男女共同参画社会への理解を深めるための講座等を実施し、だれもが参加しやすい学習機会の提供に努めます。	地域振興課	地域振興課	○男女共生セミナーを開催し、男女共同参画の周知、意識啓発を図った。 ・開催日 2月3日(日) 講師:NPO法人ファザリング・ジャパン 代表 安藤哲也氏 テーマ「イキイキ生きる父親が社会を変える 仕事も育児も人生も、笑って楽しむパパになろう!」参加者57名(男性43名、女性14名) ・セミナー開催に際して、一時保育を実施した。利用件数4件(5名)	○	○	B
4	男女平等・共同参画の視点に立った表現の配慮	社会的性別(ジェンダー)などの固定観念にとらわれず男女の多様なイメージが浸透するように、市が作成する広報紙、ポスター、チラシ、ホームページ等の表現に留意するよう努めます。	全庁	学び支援課(中央公民館)	講座の周知ポスターのイラストについて、男性、女性を分け隔てなく使用するなど、誰でも参加しやすくなるようなイメージ作りに努めている。	○	○	A
			地域振興課	地域振興課	○ポスター・チラシの作成、『ハーブティ』の発行、広報しらおかの記事に掲載する際には、男女のいずれかに偏った表現やイラストにならないよう配慮し、男女の多様なイメージが浸透するよう務めた。	○	○	B
5	男女共同参画に関する調査研究・情報提供の充実	男女共同参画に関する市内の現状を把握し、新たな課題解決を図るための調査研究を行います。また、ジェンダー統計の導入や市民のニーズに即した資料・情報収集の充実を図ります。	地域振興課	地域振興課	○男女共同参画プランの推進に係る取組の実績や審議会等への女性委員の参画状況等について全庁に照会し、情報収集を行い、結果について全庁に報告した。ジェンダー統計の導入について男女共同参画推進会議においても指摘されていたが、導入には至っていない。今後は市民のニーズに即した調査方法等について、情報収集を進めていく。	○	○	C
6	メディア・リテラシーの育成	各種講座の開催や広報紙の活用、さらに教育機関と連携しながら、メディアからの情報を主体的に読み解く力の育成に取り組みます。	地域振興課	地域振興課	○メディア・リテラシーについて市公式ホームページに掲載し、周知を図った。職員や市民に向けた研修や事業はまだ実施しておらず、男女共同参画推進会議においても指摘されている。引き続き、情報提供を行いながら、事業の検討をしていく。	○	○	C
			教育指導課	教育指導課	○管理職および教員(情報教育主任)を対象として情報モラル(ライン、SNSを含む)の啓発を図った。(校長会・教頭会等) ○児童生徒を対象とした情報モラルを学ぶ機会を計画し、実施した。 ○県主催の研修会等への教職員の参加を依頼した。	○	○	A

主要課題2 男女平等・人権尊重教育の推進
 (1)小・中学校教育における男女平等・人権尊重教育の推進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
7	人権教育全体計画等の見直しと実践	各学校の人権教育全体計画、人権教育の視点を明確にした年間指導計画を男女平等教育の充実の視点で見直し実践します。	教育指導課	教育指導課	○人権教育全体計画及び年間計画に基づき人権教育の視点を取り入れた授業計画と授業実践を行った。 ○家庭教育学級など、学校・家庭・地域との連携を図った人権教育の実践を進めた。	○	○	B
8	個性・適性を尊重した進路指導・活動指導の充実	児童・生徒が性別にとらわれず、個性や適性に応じて主体的に将来の進路を選択できるよう指導を充実します。また、授業や委員会活動、課外活動において、固定的役割分担をなくし、個性を生かして男女が対等の立場でともに学び合えるよう継続的に指導します。	教育指導課	教育指導課	○幼小小連携については、学期に1回ずつ全5ブロックで交流会や授業参観を実施した。 ○幼小小合同研修会を実施した。(①5月26日②10月18日) ○市内3校の中学校で1年生を対象にし、職場体験を実施した。(1校は教育課程編成の都合で次年度に移行) ○企画政策課との協働によりJFAこころのプロジェクト「夢の教室」を全小学校で行った。	○	○	B
9	男女平等の視点に立った教材・資料等の点検と活用	教材や資料等は性別によって固定した色を使わないなど、男女平等の視点に立って点検・検討を行います。また、男女平等教育の資料の収集、整理、情報提供を進め積極的に活用します。	教育指導課	教育指導課	○道徳や特別活動の授業を中心に男女平等教育の推進をした。 ○県主催の男女平等教育に関する研修会等、参加可能な研修会の情報提供をした。	○	○	B
10	人権尊重に基づいた性教育の充実	男女が互いの性を理解・尊重し、一人ひとりの人間を大切にすることを体得できるよう、心身の発達に応じた適切な性教育の充実を図ります。	教育指導課	教育指導課	○小学校3年生から体育(保健)で心身の発達の違いを学習した。 ○県主催の「性に関する授業研究会」に参加した。(5名)	○	○	B
11	教職員、保育士等への研修の充実	子どもや児童・生徒に大きな影響を持つ保育士や教職員の男女平等・人権意識をさらに高めるために、それぞれの場で研修や勉強会を通じて理解促進を図ります。	教育指導課	教育指導課	○管理職対象の同和教育研修会の実施した。(8月27日山中集会所にて実施) ○菟莪小・中による同和教育研修会を実施した。(4月5日) ○埼玉人権のつどいへの職員が参加した。	○	○	B
			子育て支援課	保育課	○保育士や学童支援員の男女平等・人権意識をさらに高め、それぞれの場で実践力をつけるために、男女平等・人権尊重教育の研修を通じて理解促進を図った。 ・全国人権保育研究会/保育士出席 ・人権・同和問題職員研修会/保育士、学童支援員出席 ・LGBT研修会/保育士、学童支援員出席	○	○	B

(2)家庭や社会における男女平等・人権尊重教育の促進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
12	保護者・PTAへの意識啓発の促進	児童・生徒が性別にかかわらず自立した生き方ができるように、保護者に向けて社会的性別(ジェンダー)にとられない生き方・考え方の啓発を行います。また、授業の補助や下校時の見守り等、地域の人材についても引き続き活用を図っていきます。	教育指導課	教育指導課	○親子いじめナシ宣言、人権標語、人権作文への取組を継続的に実施し、保護者の意識を高めた。 ○「埼玉人権を考えるつどい」への参加した。(各校PTAより参加、10月11日実施)	○	○	B
13	家庭教育学級等の推進	子育て家庭において、男女ともに性別にとられることなく自立することの重要性を理解して、地域・社会全体で子育てを実践できるよう「地域の教育力」の向上を図ります。	生涯学習課	いきいき教育課	○家庭教育学級合同講座の実施 ・第1回家庭教育学級合同講座 5月30日 講師:食育インストラクター1級 清水 千佳子 氏 演題 キッコーマン食育講座「食を通して人の心も身体も豊かに育む食育講座」146人 ・第2回家庭教育学級合同講座 11月22日開催予定 東京家庭教育研究所 青木 益美 氏 ※白岡市青少年健全育成推進大会との合同開催 演題「人間性が育つほめ方やり方」234人 ○各小・中学校への家庭教育学級委託の実施 ・1校40,000円の委託金 実施講座数30講座、延べ参加者数763人	○	○	B
14	相談活動の充実	悩み事を持つ保護者や子どもに対する相談活動の充実を図ります。	教育指導課	教育指導課	○白岡市教育支援センターにおける相談体制を充実させた。 ○スクール・ソーシャルワーカーの積極的な活用と有効的な連携のため、教育相談連絡会にスクールソーシャルワーカーを派遣した。 ○庁内各課・地域医療機関等との連携を図った。	○	○	B

基本目標2 男女がともに役割を担い、健康に暮らせるまちづくり

主要課題1 家庭における男女共同参画の推進

(1)男性の積極的な家庭参画促進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
15	男性の家事参加・日常生活支援の推進	女性が担うことが多い家事に男性の積極的な参加を促すため、家事等の基本的な知識、技術を習得する講座等を開催します。また、講座等に参加することにより、近所づきあいの経験が少なく孤立しがちな男性が仲間づくりや地域活動への参加のきっかけとなるよう働き掛けます。	生涯学習課 (公民館・勤労青少年ホーム)	学び支援課 (公民館)	○公民館講座 ・5/27～6/17「男の料理」4回開催 延べ42人参加(11人の参加申込、うち夫婦1組) ・11/25・12/2「おうちで簡単!おせち料理」2回開催 延べ24人参加(12名の参加申込、うち男性1名) 仕事を持つ若い世代の公民館の利用が比較的に少ないことから、さらなる参加を促進することを目的として、夫婦での参加を可能とする外、休日(日曜日)に講座を開催した。「男の料理」講座については、リピーターだけでなく、新たな若い世代の参加も見られるなど、一定の効果が見られた。参加者からも好評をいただいたため、次年度も前期公民館講座の中で開催を予定している。 後期講座で開催予定の「おうちで簡単!おせち料理」講座についても、開催日を日曜日とし、対象者を小学生以上とするなど、家族で参加しやすいように設定したが、男性が1名のみでの参加と、当初に期待した効果は見られなかった。	○	○	B
16	男性の育児参加の促進	両親学級や休日の親子参加イベント等とおとして、男性の育児参加をさらに促進します。	健康増進課	健康増進課	○母親学級の3日目を両親学級として開催 4回/年 父としての出産・育児に向けての心構え、母への理解・サポート方法等の講話や、妊娠擬似体験、沐浴演習を実施 4回実施:参加者母58名、父43名	○	○	B
			子育て支援課	子育て支援課 (児童館)	○東児童館事業「パパとあそぼう」 ・父親と一緒にひとつの目的に取り組むことで、父子のふれ合いを深めた。 (対象)4歳～小学校のお父さんと父親 (日時)6/17(日)…12組28人、1/6(日)…6組15人 ○子育て支援センター(東児童館内子育て支援センター「はびちる」)事業「親子講座(父親対象)」 ・父子が一緒に遊びを楽しむ中で、子育てについての情報交換や親同士の交流を深めた。 (対象・開催日) 1歳児の父子:6/10(日)…25組50人、12/9(日)…20組40人 2歳児の父子:6/10(日)…17組34人、12/9(日)…22組44人	○	○	A
			生涯学習課 (公民館・勤労青少年ホーム)	学び支援課 (公民館)	○前期講座の開催期間中に実施した夏休み開催講座で、保護者の見学を可能とし、さらに父親を参加しやすくするため、下記の講座を日曜日に開催した。 ・8/5「夏休み子どももおもてなし講座 連鶴を折ってみよう!」開催、7人参加。 ・8/5～9/30「マンガを描いてみよう!」4回開催、延べ43人が参加。 保護者の関心も高く、父親同伴の参加者も見られた。 ・12/14「ふたご座流星群を見よう!」小学生と保護者が参加しやすい時間帯である金曜日の夜間に開催日時を設定した。11名が参加したが、父子の参加は見られなかった。 今後においても、親子で参加可能な事業の開催を検討し、父親がより参加しやすいような取り組みを行っていく必要がある。	○	○	B

(2)子育て支援サービスの充実

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
17	保育所、学童保育所等事業の充実	保育を必要とする世帯が仕事等と子育てを両立できるよう、保育定員の拡大、特別保育や学童保育所の充実、保育所の地域開放など、多様化する保育ニーズに応じた子育て支援サービスの提供を進めます。	子育て支援課	保育課	○多様化する保育需要に対応するため、市立保育所の定員及び保育時間を拡大する条例改正を行った(12月)。平成31年度からの運用に向け、ハード面・ソフト面ともに準備を行った。 【目標数値 学童保育所数 平成30年度 9か所】 目標数値数は平成29年11月で既に達成済みであったが、待機児童は解消していない。については、目標数値・学童保育所数を平成31年度10か所と拡大し、新設について検討した。	○	○	B

18	子育てを考慮した公共施設等の整備	児童遊園等の整備や「赤ちゃんの駅」の設置など、安心して外出できる環境の整備を進めます。また、親子が安全に安心して利用できる公園環境の維持に向け、効果的な更新・補修を行います。	子育て支援課	子育て支援課	○「赤ちゃんの駅」について、ホームページや子育て支援ガイドブックを通じて、子育て家庭向けに周知を行った。	-	-	B
			保育課	保育課	○児童遊園27か所の遊具点検を実施し、メンテナンスが必要な遊具は修繕・撤去等を行った。 また、公園管理者や地域の方々の協力により、随時、草刈り、樹木伐採、落ち葉拾い等を実施いただき、安心安全な公園環境を維持することができた。	○	○	B
			街づくり課	街づくり課	○白岡市公園施設長寿命化計画を基に、駒形公園では複合遊具の更新、白岡公園、ツツジヶ丘公園、モミジ公園及び原ヶ井戸北公園ではすべり台の更新、そして新白岡もみじ公園では鉄棒の更新を実施した。 また、週に1回、市内の公園の点検をし、安全確認を行い、誰もが安心して利用できるよう努めた。	-	○	A
19	子育て相談、仲間づくりの支援と充実	日常的な子育ての悩みを気軽に相談できるよう各種相談を充実させ、利用促進を図ります。また、地域で子育てについての情報交換や親同士の交流を深め、親子がともに育つ場づくりを推進します。	健康増進課	健康増進課	○母親学級に参加したかたを対象に、仲間づくりの機会として母親学級同窓会を開催 2回/年 母親同士の交流の場を提供し、情報交換をとおして育児支援を図る。 2回実施:参加者17名 ○乳幼児健康相談、栄養相談、離乳食教室の実施 各月1回(健康相談と計測のみは月2回) 21回実施:健康相談 相談者247名(延べ)(2月末現在) 11回実施:栄養相談 相談者73名(延べ)(2月末現在) 11回実施:離乳食教室 参加者102名(延べ)(2月末現在) 21回実施:身体計測 計測者219名(延べ)(2月現在) ○フォロー相談の実施 26回/年 臨床心理士による育児支援、精神的援助を行う。 25回実施:相談者90名(延べ) ○乳幼児クリニックの実施 6回/年 乳幼児健診後のフォローや個別相談において、経過観察が必要なケースに対して小児科医師による診察、相談を行い、保護者の不安解消を図り、必要時医療機関などを紹介し適切な受診につなげる。 6回実施:相談者16名 ○子育て応援講座 昨年度に受講した者を対象としたフォローアップ講座を実施。 1回実施:フォローアップ講座参加者4名 ○保健センター事業を、市のホームページや広報紙に掲載、毎年保健センター事業等予定表を全戸配布	○	○	B
			子育て支援課(児童館)	子育て支援課(児童館)	○子育て支援拠点事業「親子教室」「ぶち・親子教室」 ・子育て支援センター及び子育てサロンを運営し、その中で、乳幼児とその保護者を対象とした親子講座を実施した。 (対象)「親子教室」0歳児・1歳児・2歳児(各2コース16回ずつ開催) 「ぶち・親子教室」6～12箇月(月1回開催) * 東児童館内子育て支援センター「はびちる」 0歳児…365組734人、1歳児…570組1,150人、2歳児…426組852人 6～12箇月…(2月末時点:11回開催)50組100人 * 西児童館内子育て支援サロン「らぶちる」 0歳児…382組764人、1歳児…370組740人、2歳児…433組866人 6～12箇月…(2月末時点:11回開催)66組133人 * 高岩保育所内子育てサロン「ぶちる」 0歳児…180組361人、1歳児…249組498人、2歳児…215組430人 6～12箇月…(2月末時点:11回開催)43組86人 * 子育て支援センター「虹」 0歳児…58組117人、1歳児…120組243人、2歳児…16組32人 6～12箇月…(2月末時点:11回開催)44組88人 ○子育て相談 ・育児についての不安解消を図ることを目的として実施した 【相談件数】(2月末時点) * 東児童館内子育て支援センター「はびちる」…49件 * 西児童館内子育て支援サロン「らぶちる」…13件 * 高岩保育所内子育てサロン「ぶちる」…50件 * 子育て支援センター「虹」…2件	○	○	A

20	訪問型子育て支援の実施	子育て支援拠点などに出て来られず家に閉じこもりがちな子育て家庭を訪問し、子育ての不安感、負担感、孤立感の軽減に努めます。	子育て支援課	子育て支援課(児童館)	○児童館だよりへの掲載及びパンフレットの配置を行っているため、広報への掲載を行わなかった。利用に関する問い合わせはあるが、実際の利用に至っていない。来年度広報4月号に記事を掲載し、周知を強化する。 【実施件数】0件	-	-	C
21	地域交流事業の充実	身近な地域において子どもたちが様々な体験を通じて豊かな人間関係をはぐくめるよう、各種団体やサークル等地域の人々との交流事業を積極的に進めます。	生涯学習課	学び支援課	○ウィークエンドいきいき体験教室を実施 ・田んぼの学校 全4回 5月12日 田植え体験 74人 6月 2日 田んぼの生き物観察会 50人 9月 8日 稲刈り体験 72人 11月11日 しめ縄作り、お米の試食 74人 ・自然観察会 全4回 7月21日 夜の昆虫観察会 45人(男性27人・女性18人) 8月19日 ミクロの世界探検隊 25人(男性14人・女性11人) 12月15日 ひこべえの森 冬のつどい 70人 平成31年3月23日 開催予定 ひこべえの森の春探し ・自然ふれあい体験教室 7月24日、25日 1泊2日 宿泊地 国立赤城青少年交流の家(群馬県前橋市) 対象者 小学生4年生から6年生まで 27人(男性20人・女性7人)	○	○	A
			健康増進課	健康増進課	○白岡市母子愛育会が主催する幼児教室等への支援・協力 幼児教室 4回実施(7、9月、10月、1月):参加者 親88名・子90名 料理教室 2回実施(6、7月):参加者29名 赤ちゃん広場 1回実施(8月):参加者172名	○	○	B
22	ファミリー・サポート・センター事業の充実	育児の援助を受けたい方と子育てのお手伝いをしていただける方との、相互援助活動を支援するファミリー・サポート・センター事業の充実を図ります。	子育て支援課	子育て支援課(児童館)	○ファミリー・サポート・センター事業 ・入会説明会 毎月開催 ・基礎研修…5/14(月)・5/29(火) 延べ18人 ・ステップ研修…11/20(火) 8人 ・茶話会…3/1(金) 13人 ・会員数…502人 ※H31.2末時点 ・活動件数…657件 ※H31.1末時点 ○緊急サポートセンター事業 ・サポーター養成講座(4日間)参加者…0人 ・活動件数…17件 ※H31.1末時点	-	-	B
23	ひとり親家庭への支援の実施	母子家庭、父子家庭などのひとり親家庭の生活安定と子どもの健全な育成を図るための支援を行います。	子育て支援課	子育て支援課	○職業能力の開発を支援し、自立に向けた援助を図るため、母子家庭等自立支援給付金事業等をホームページにて周知した。 ○ひとり親家庭が健全で安定した生活を送ることができるよう、窓口等での相談を充実させ、適切な支援を行った。 高等職業訓練促進給付金受給者2名(うち女性2名)	-	-	B
24	子ども・子育て支援事業計画の推進	子ども・子育て支援事業計画に基づき、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるための施策を総合的、集中的かつ効果的に推進します。	子育て支援課	子育て支援課	○子ども・子育て支援事業計画に基づき、施策を実施した。	○	○	B

(3) だれもが安心して暮らせる環境づくり

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
25	様々な困難な状況に置かれている人々への支援	高齢者や障がい者、経済的困窮を抱える家庭など、様々な困難な状況に置かれている人々が地域でいきいきと生活ができるよう、地域包括支援センターや地域の機関における情報提供・相談対応を行います。	高齢介護課	高齢介護課	地域包括支援センターにおける相談状況(地域包括支援センター報告分)※延べ人数 高齢者に関する幅広い相談の受付け。介護、医療、福祉、保健など、様々な制度や地域の社会資源の紹介。また、高齢者の権利を守るため、関係機関との協力、権利侵害を防止するための情報提供。 ■総合相談(電話・来所・訪問・文書等):1723件 ■権利擁護(成年後見相談):9件 ■消費者被害相談:0件	-	○	B
			福祉課	福祉課	○窓口等で、各種申請を受理するとともに、必要に応じて、福祉サービスの案内及び相談に対応した。 また、経済的に困窮している世帯に対し相談支援を行い、適切な社会資源の適用を行った。	-	○	B
			関係各課					
26	高齢者・障がい者等の家族介護者への支援	家庭内で女性に負担が偏りがちな介護について家族介護者の負担を軽減するために、福祉サービスの充実や介護者同士の交流の場などの情報提供を行います。	高齢介護課	高齢介護課	オレンジカフェ実施状況(地域包括支援センター報告分) 認知症カフェ(オレンジカフェ)とは、認知症の人やその家族、地域住民のみなさんが自由に参加して、交流できる場。また、認知症を正しく理解していただくための普及啓発や認知症について相談できる場。 ■実施事業所:9か所 ■回数:77回 ※延べ回数 ■参加者:1484人(男性125人・女性832人) ※延べ人数。男女別参加者については、内訳ありの場合のみ。	-	○	B
			福祉課	福祉課	○窓口等で、各種申請を受理するとともに、必要に応じて、福祉サービスの案内及び相談に対応した。	-	○	B
27	性的少数者に対する理解促進	新規 性的指向や性同一性障害を理由とする偏見や差別をなくし、理解促進等性的少数者の人権侵害の防止に努めます。	全庁					
			地域振興課	地域振興課	○県主催のLGBT研修会に参加した。 ○県民講座「知っていますか？LGBT」の開催情報を広報しらおかに掲載し、講座の周知を図った。 ○LGBT研修を職員、行政役職者に実施し、意識啓発、理解促進を行った。 ・1/30職員研修194名 ・8/17民生委員101名 ・2/25農業委員18名 ・3/25行政区長43名	○	○	A

主要課題2 生涯にわたる健康づくり

(1)女性の健康管理の充実

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告(内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
28	妊娠・出産に関わる健康管理の充実	妊娠した女性や出産後の母子が健康を保持できるように、健康診査や健康相談、育児指導などライフステージや成長段階に応じて必要な母子保健事業等を充実します。また、保健所や埼玉県不妊相談センターの相談や不妊治療費助成事業などについての情報提供に努めます。	健康増進課	健康増進課	○母子健康手帳の交付 妊娠の届出時に状況を伺い出産後への継続支援を行う。 届出件数:351件 (3月15日現在) ○妊婦一般健康診査 母子健康手帳と併せて健診費用の助成券を交付 ○母親学級を開催 3日間1コースを年4回開催 4コース実施:参加者163名(延べ) ○各乳幼児健康診査の充実 4か月児健康診査の実施 月1回 12回実施:受診者405名 10か月児健康診査の実施 月1回 12回実施:受診者416名 1歳6か月児健康診査の実施 月1回 12回実施:受診者361名 3歳児健康診査の実施 月1回 12回実施:受診者433名 2歳6か月児歯科健診(個別歯科健診) 受診者252名(1月末現在)	○	○	B
29	性の尊重についての理解促進	妊娠・出産についての知識やそれに関わる女性の自己決定権(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)などについて普及・啓発を行います。	地域振興課	地域振興課	○リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて市公式ホームページに掲載し、正しい理解の普及に努めた。講座や研修会等の具体的な事業はまだ実施しておらず、男女共同参画推進会議においても指摘されている。引き続き、具体的な啓発方法等について検討していく。	○	○	C
			健康増進課	健康増進課	○母親学級において、「妊娠・出産・育児」について保健師、助産師、歯科衛生士、栄養士の講話を実施 1日目「お産の経過、妊娠中の健康管理」講師:助産師 4回実施:参加者56名 2日目「妊娠中の口腔衛生、栄養管理」講師 歯科衛生士、管理栄養士 4回実施:参加者52名 3日目「新生児の保育」「沐浴演習」講師:保健師 4回実施:参加者母55名、父43名	○	○	B

(2)男女ともにライフサイクルに沿った健康づくり

番号	施策名	事業内容	担当課	報告課	平成30年度実績報告(内容・効果、日時、意識・配慮、反省点、参加者数等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		H30の達成度
						①	②	
30	健康診査受診機会の拡充	市民の主体的な健康管理を推進するために、各種健診の受診についての周知・啓発や受診しやすい環境づくりを進め、受診率の向上を図ります。	健康増進課	健康増進課	○各種がん検診及び特定健康診査の同時実施 胃がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がんの各検診を実施(6月～12月) 特定健診と胃がん・肺がん結核検診を同時実施3日実施(6月) 胃がん・肺がん、乳がん・子宮頸がん検診をそれぞれ同時実施中 女性がん検診時に託児を実施中 広報に毎月がん検診のお知らせを掲載 がん検診PRのため、公用車へPRマグネット装着、PR用ポロシャツの着用 がん検診対象の市民にがん検診受診券ハガキを郵送(5月) がん検診推進事業対象者と特定の年齢のかたで未受診者に受診再勧奨ハガキを郵送(8・11月) ○がん検診実施状況 胃がん検診:897名 肺がん結核健診:1,684名 乳がん検診:1,054名 子宮がん検診:1,234名 大腸がん検診:1,674名 ○がん検診推進事業 乳がん検診78名 子宮頸がん検診19名 HPV検診46名 大腸がん検診62名	○	○	B

31	相談事業の充実	利用しやすい健康・栄養相談の体制を整備し、関係機関と連携して健康の維持・増進を支援します。	健康増進課	健康増進課	○健康・栄養相談の実施(月1回) 12回実施・受相者117名 ○健康・栄養相談の実施方法については引き続き検討する。 事業の案内チラシを骨密度測定時に配布した。	○	○	B
	専門職の配置拡充	市民参加型の健康づくり事業など、市民の主体的な健康づくり活動を推進するために、保健師、栄養士等の専門職の拡充を図り、適切な配置に努めます。	健康増進課	健康増進課	○保健師、栄養士等の適正配置 ・保健師1名採用(健康増進課配置)	○	○	B
33	健康に関する教育・啓発の充実	生涯にわたって健康に暮らせるよう心身の健康づくり、食育推進に関する学習や運動・スポーツの機会の提供及び啓発活動を行います。また、若年層を対象として、HIV/エイズ、性感染症や薬物乱用防止に関する正しい知識の普及・啓発を行います。	健康増進課	健康増進課	○健康マイレージ事業の実施 ・登録者数:440名(1月末現在) ・18歳以上の市民でマイレージに登録をしたかたを対象にウォーキング等の運動の習慣化を図るための運動教室を実施した 3回(10月、12月、H31年1月) 87名【延べ】	○	○	B
			教育指導課	教育指導課	○埼玉県警非行防止指導班「あおぞら」の他、各種外部指導者等を招聘し、各小中学校で薬物乱用防止教室を実施した。児童生徒への指導を行い意識向上に努めた。また、保健の学習の中でHIV/エイズ等性感染症に対する教育を行った。 ○企画政策課との協働によりJFAこころのプロジェクト「夢の教室」を全小中学校で行った。	○	○	A
			生涯学習課	いきいき教育課	○スポーツ教室の実施 ・「軽スポーツ教室」8回(6/9、23、7/14、10/7、21、11/18、12/2)延べ100人 ・「アダプテッドスポーツ教室」5回(5/19、7/21、9/15、11/17、2/16)延べ80人	○	○	B
			生涯学習課 (公民館・ 勤労青少年ホーム)	学び支援課 (公民館)	○公民館講座 前期 ・6/3～6/17「ボイストレーニング」3回開催、延べ58人参加(25人の参加申込、うち男性1人) ・7/2「肩こり、腰痛を“ツボ”で解決！」開催、14人参加(14人の参加申込うち男性3人) ・6/4～6/25「気功・太極拳」4回開催、延べ85人参加(26人の参加申込うち男性3人) ・5/26～6/23「料理」5回開催、延べ35人参加(8人の参加申込、女性のみ) ・5/27～6/17「男の料理」4回開催、延べ42人参加(11人の参加申込、うち夫婦1組) ・8/25～11/10「おいしいパン」6回開催、延べ30人参加(6名の参加申込、うち男性1人) 後期 ・11/11～11/25「ボイストレーニング」3回開催、延べ39人参加(17人の参加申込、うち男性3人) ・11/13～12/4「ろっ骨エクササイズ！カキラ」4回開催、延べ161人参加(50人の参加申込、うち男性3人) ・11/13～12/11「20歳若くなる人、老ける人」3回開催、延べ38人参加(17人の参加申込、うち男性2人) ・1/12～2/23「ヨガ&ピラティス」4回開催、延べ127人参加(47人の参加申込、うち男性2人) ・11/25～12/2「おうちで簡単！おせち料理」2回開催予定、延べ24人(12名の参加申込、うち男性1名) 市民が心身の健康に関心を持ち、生活に取り入れられる運動の講座や、毎日の食事のなかで健康について考えながら料理することを目的とした講座を企画し、開催した。運動の講座については、性別を問わず高い関心が見られ、公民館講座の中でも人気の高いプログラムである。実施した講座が好評であることから、同様の講座を同じ講師のもとで継続的に実施することが多いが、マンネリ化を防ぐ意味でも、多くのやり方で実施していく必要がある。	○	○	A

基本目標3 一人ひとりが活躍するための環境づくり

主要課題1男女がともに働きやすい環境づくり

(1)働き方を見直した、多様な働き方ができる環境づくり

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告((内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。)	意識・配慮度		達成度
						①	②	
34	ワーク・ライフ・バランスを実現する働き方の情報収集・提供	ワーク・ライフ・バランスを実現する働き方や両立支援の取組について、市民や事業者等への情報提供を行います。	商工観光課	商工観光課	○国や県から提供されるパンフレットを配布し、情報提供を行った。	-	○	B
			地域振興課	地域振興課	○男女共同参画パネル展において、情報提供を行った。 6/20～6/27市民ラウンジにおいて「統計に見る仕事と生活のいま」を展示し、「仕事」と「生活・子育て・地域活動」のバランスや働き方の見直しを考える機会を提供した。	○	○	B
35	就労に関する情報の収集・提供	良好な就労環境で働くことができるよう、ハローワーク等の求人情報、パート、派遣労働、SOHOなどに関する情報の収集、提供を行います。また、テレワーク、在宅ワークなどの労働実態の把握を進めます。	商工観光課	商工観光課	○春日部、大宮のハローワークと連携し、求人情報を定期的に入手し、窓口にて閲覧を実施した。 ○求職者に対し、ハローワーク求人情報オンラインサービスを活用し、毎日更新される最新の求人情報を提供した。	-	○	B
36	労働に関する相談体制の充実	相談者がかかえる様々な問題を迅速かつ適正に対処するための情報収集・提供体制を、関係機関との連携強化を図りながら充実します。	商工観光課	商工観光課	○労働に関する相談窓口の問い合わせなどに対して迅速に対応するため、担当機関の情報収集に努め、情報提供及び相談窓口の紹介に努めた。	-	-	B
37	農業に携わる女性への支援	男女共同参画への理解を推進するため、農産物加工・販売等に取り組む女性農業者への研修や講習等を関係機関を通じて開催し、農業における女性の経営参画を促進します。	農政課	農政課	○11月17日農業祭参加(彩の会、転作大豆加工部会)。 ○味噌の製造(7人参加)	○	-	B
38	商工業等に携わる女性への支援	商工業に携わる女性が、地域経済の活性化を担えるように経営戦略を学べる研修会、講習会等を、関係機関を通じて開催し、商工業における女性の経営参画を促進します。	商工観光課	商工観光課	○商工会女性部に対し、商工業の振興に役立つ各種研修会等の情報を提供するなど、必要に応じたサポートを行った。	-	-	B
39	就労に関する法・制度の周知、啓発	勤労者及び事業主に対して、『男女雇用機会均等法』、『育児・介護休業法』、『女性活躍推進法』、『ボジティブ・アクション』等、女性の雇用や職業と家庭の両立に関する法・制度の周知や活用促進を、国や県など関係機関と協力して進めます。	商工観光課	商工観光課	○国や県から提供されるパンフレットを配布し、情報提供を行った。	-	-	B

(2)女性のチャレンジ支援

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告((内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。)	意識・配慮度		達成度
						①	②	
40	職業能力の開発と支援	技術や職業能力の開発、情報や学習機会の提供などを通じ、就職や再就職等を希望する女性に対して、職業能力開発のための支援を行います。	商工観光課	商工観光課	○県等との連携を図り、職業能力開発センターや高等技術専門学校の入校案内などのパンフレットを配布するとともに、広報紙による技能取得講座の案内を実施した。	-	-	B
41	起業・再就職に関する支援	起業や再就職を希望する女性に対して、各種情報提供を行うとともに、関係機関と連携したセミナーの開催、相談等の支援を行います。	商工観光課	商工観光課	○ハローワーク求人情報提供サービスを活用し、毎日更新される求人情報を求職者に提供した。 ○商工会と連携し、創業希望者向けのセミナーを開催した。※8名参加うち2名が女性 ○女性の就業支援策として、以下のセミナーを実施した。 ・「輝く女性のメイクアップセミナー」10月26日開催 ・「女性のためのプチ起業始め方セミナー」11月19日開催 ・「採用側に伝わる自分PR方法」1月24日開催 ○県が実施する女性活躍推進リーダー連絡会議にて、女性の就労支援に関する市の取組を発表した。9月26日実施	○	-	A

主要課題2 政策・方針決定の場への参画促進

(1) 審議会等における男女共同参画の促進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告((内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。)	意識・配慮度		達成度
						①	②	
42	審議会等への女性の参画の促進	政策・方針決定の場への女性の参画を進めるため、審議会等への女性委員の登用を促進します。平成33年度までに登用率を30%とするように努め、女性委員のいない審議会等の解消に努めます。	全庁	環境課	<ul style="list-style-type: none"> ○審議会及び協議会への女性委員の登用に意識付けがされた。 ・環境審議会において、委員10名のうち3名の女性委員に参加していただいている。今後も、男女問わずに参加しやすい雰囲気を作り、委員選出団体(委員は推薦されている)ならではの視点から積極的な意見交換が行われる会議運営を目指す。 ・空家等対策協議会において、委員11名のうち1名の女性委員に参加していただいている。今後も、男女問わずに参加しやすい雰囲気を作り、委員選出団体(委員は推薦されている)ならではの視点から積極的な意見交換が行われる会議運営を目指す。 ・彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議会において、委員12名のうち1名の女性委員に参加していただいている。今後も、男女問わずに参加しやすい雰囲気を作り、積極的な意見交換が行われる会議運営を目指す。 	○	○	B
				下水道課	<ul style="list-style-type: none"> ○委嘱期間内のため未実施。平成32年度4月予定。 ・白岡市下水道事業審議会への女性委員の参画状況(平成30年5月1日現在 14.3% 2人/14人) 	-	-	B
				地域振興課	地域振興課	<ul style="list-style-type: none"> ○審議会等への女性委員の参画状況等の調査を通じ、新規組織の立ち上げや、委嘱替えの際に女性委員を積極的に登用するよう、職員に対し意識づけをした。行政区长、区長代理への女性の参画については、研修等により意識づけを行っている。引き続き、啓発に努めていく。 ・審議会等全体への女性委員の登用・参画率 平成30年4月1日現在27.5%(前年度は23.8%) ・行政区長、区長代理に占める女性の割合5.4%(目標は10%) 	○	○
43	女性の人材発掘と活用	審議会等の委員候補者や男女共同参画に関連した講座の講師候補者として女性の参画を促すため、様々な分野で知見や経験を有する人材リストの充実と活用を促進します。	地域振興課	地域振興課	<ul style="list-style-type: none"> ○研修、講座開催における講師、審議会等への女性委員の登用に際し、人材リストの活用はできなかった。今後、あらゆる分野で女性の参画が図れるよう、ペアーズバンクとも連携を含めた活用を検討していく。 	○	○	C
44	市政に係る情報提供の充実	市政に対する市民の関心を高め市民参加を促進するため、市の施策や議会に関する積極的な情報提供に努めます。また、参画と協働のまちづくりサポーター制度の充実を図ります。	地域振興課	地域振興課	<ul style="list-style-type: none"> ○市政等の情報提供を充実させるため、参画と協働のまちづくりサポーター制度による情報提供を行った。 ・平成30年度7回 	○	○	B
			議会事務局	議会事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○議会だよりを年4回発行し、議会における審議内容や議会活動を積極的に公開した。読みやすく、分かりやすい編集に努めた。 	○	○	B
					<ul style="list-style-type: none"> ○定例会に関する情報や会議録、議員名簿、議会だよりなどを掲載し、いつでも誰でも議会情報が得られるよう情報公開した。 	-	○	B
					<ul style="list-style-type: none"> ○行政情報モニターにより、議会開催日等をお知らせし、情報提供に努めた。 ○市民の文化・芸術活動の発表の場として議場コンサートを開催し97名の参加来場があった。議場に足を運んでいただき議会をより身近に感じていただけるよう「市民に開かれた議会の推進に努めた。 	-	-	B
45	女性の会議等への参画の支援	会議・相談等への女性の参画を推進するため、一時保育サービス等を実施するなど参加しやすい体制づくりを進めます。	全庁	学び支援課 (公民館)	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館前期講座で実施した講座「耳つぼりフットアップ！」において、子育て中の母親が参加しやすいように、白岡市母子愛育会に依頼し、一時保育を実施した。 6/18(月)1回開催(一時保育あり、1組が利用) ○公民館前期講座で、親子で参加可能な講座「親子で健康スキンシップ講座」を実施した。 7/9(月)1回開催、10名参加(親子5組) 	○	○	B
					<ul style="list-style-type: none"> ○公民館前期講座で、親子で参加可能な講座「親子で健康スキンシップ講座」を実施した。 7/9(月)1回開催、10名参加(親子5組) 	○	○	B
			地域振興課	地域振興課	<ul style="list-style-type: none"> ○女性相談室・男女共生セミナーの際に一時保育を実施した。利用件数 女性の相談室2件(2名)、男女共生セミナー4件(5名) 	○	○	A

(2) 事業所における取組の推進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告((内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
46	方針決定の場への女性の参画推進に向けた情報提供	事業所等における方針決定過程への女性の参画の推進に向け、事業者に対して国・県等の支援に関する情報や取組事例などについて情報提供を行います。	商工観光課	商工観光課	○国や県から提供されるパンフレットを配布し、情報提供を行った。	-	-	B

主要課題3 地域・社会活動への参加促進と環境づくり

(1) 地域・社会活動における男女共同参画の推進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告((内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
47	自治会等地域活動の男女共同参画の促進	行政区、自治会、PTAなどの身近な地域活動に男女がともに参加し、性別による固定的な役割分担をなくし、主要な役割を女性も男性も担いながら活発な活動ができるよう意識啓発に努めます。	地域振興課	地域振興課	○11月に実施した行政区長会の県外視察研修において、千葉県鴨川市のNPO法人から民衆連携による地域づくりを視察し、性別、年齢などを超えて多くの地域住民が関わっていく活動手法を学んだ。	○	○	B
48	地域活動、ボランティア活動への参画の促進	様々な地域活動やボランティア活動に、子どもや高齢者、女性、男性などだれもが気軽に参加できるよう取り組んでいきます。	地域振興課	地域振興課	○参画と協働のまちづくりサポーター制度による登録者へのボランティア情報等の提供や参画と協働の市民活動掲示板での情報掲示を通じて、地域活動・ボランティア活動の促進を図った。 ○11月から地域活動発見講座を開催した。地域活動を始めるに当たっての知識や地元白岡のことを学ぶとともに、講座を通じて知り合ったメンバーでできる活動を考えていくこととなった。(受講者11名)	○	○	B
			環境課	環境課	○白岡市資源回収事業奨励金交付対象団体(11団体が登録)に奨励金を交付 ○ごみゼロ・クリーン運動を実施した。市内全域を対象として市民9,428名の参加により7,640kgのごみを回収した。	○	○	B
			生涯学習課	学び支援課	○ベアーズバンクの充実 市公式ホームページにベアーズバンク(ベアーズリーダー・ベアーズサークル)の情報を掲載し、子どもから高齢者、性別にとらわれることなく情報提供を行った。	○	○	B
			生涯学習課 (公民館・勤労青少年ホーム)	学び支援課 (公民館)	○公民館市民企画講座の開催 市民と行政が協力して豊かな地域社会を築くとともに地域文化の振興と住民の福祉、健康の増進を図り、より質の高い学習の場を市民に提供するため、市民自らが企画・運営する「市民企画講座」を開催している。例年応募する団体も様々な取組を実施しているほか、新たな団体からの応募も見られ、制度が徐々に浸透している様子が見られる。 なお、後期公民館講座で実施した「もう一度小学生」については、高齢者を対象とした事業であるが、男女問わず参加しやすい取り組みであり、同世代間の交流の場や、健康に寄与すると思われる。男女共同参画においても効果が期待される。ケーブルテレビ「J:COM」の「デイリーニュース」で講座の様子が放送されるなど、今後の講座運営についても期待が持てる結果となった。 前期 ・6/12「大人気!「ハーバリウム」を作ませんか?」1回 12人参加(全員女性) ・5/27~8/5「やさしい古事記」6回 延べ52人参加(11人の参加申込、男性6名、女性5名) 応募団体は男性が主体となって活動している。 ・6/5~6/26「ボディメイクストレッチ教室」4回 延べ31人参加(9名の参加申込、全員女性) 後期 ・11/13~12/4「親子体操教室」4回 親子11組が応募(延べ参加人数68人) ・11/12~1/21「陶芸教室」4回 延べ27人参加 ・1/26「もう一度小学生」1回 延べ5人参加 ・11/20「ちょっと大きめのモコモコ「クリスマスリース」作り!」開催中止	○	○	A

		生涯学習課(図書館)	学び支援課(図書館)	<p>○こもれびの森まつり 11/17(土)開催 参加者約3,000人 従前の図書館まつりを拡充し、シルバーまつり、社協まつりと合同に開催することで、こもれびの森まつりと称して実施した。また、開催日は、農業祭と同日とした。庁舎周辺の公共施設が一体となってまつりを開催することで各施設間を往来する方が増え、様々な世代の方に参加していただくことができた。 図書館ボランティアグループによる「おはなし会」や「子どもの裁縫講座」、「布作品の販売」などを開催し、事業の企画・運営の一部をボランティア団体に積極的に担っていただいた。 その他開催内容 ・リサイクル市 ・特別展(ギャラリー、地域・行政コーナー) ・人形劇公演(劇団木ぐつ木) ・とんぼ玉作り体験 ・まが玉づくり</p> <p>○ブックスタートボランティア養成講座 1月24日(木)、2月15日(金)開催 参加者 延べ39人 平成31年2月から実施するブックスタート事業を協働で進めてくださるボランティアを養成する講座の開催事業実施に向け、実践的な練習を主な目的として開催したため、2月の実施日にはスムーズに事業を進めることができた。</p>	(空欄)	○	B
140	ベアーズ！しらかをを活用した多様なプログラムの実施	ベアーズ・アカデミー等を通じて、市民の意向や時代のニーズに応じた多様な学習機会を提供します。また、開催時の一時保育や公共施設等の活用など様々な支援体制を検討します。	生涯学習課	<p>○ベアーズアカデミー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ジャンル」食育 3回講座 延べ57人(男性12人・女性9人) ・「講座名」食の大切さを学ぼう！ 7月5日(木)「食と健康 おいしく食べて健康に」 7月19日(木)「骨カルシウムセミナー」 7月25日(水)「野菜を楽しみ、もつと健康に」 ・「ジャンル」芸術 4回講座 延べ61人(男性19人・女性3人) ・「講座名」コンパクトデジタルカメラ「入門・中級講座」 10月6日(土)「写真の基本1:良い写真、いい絵って何だろう？」 10月14日(日)「写真の基本2:一眼デジカメとコンパクトデジカメの違い」 10月21日(日)「写真の基本3:実際に撮影してみよう！」 10月28日(日)「写真の基本4:実際にプリントアウトしてみよう！」 ・「ジャンル」世界 4回講座 延べ44人(男性13人・女性2人) ・「講座名」世界を考える！ 11月1日(木)「北朝鮮による拉致問題とは？」 11月8日(木)「中国の環境は今どうなっているの？日本への影響は？」 11月22日(木)「北方領土について考えよう！」 11月29日(木)「埼玉でも開催！東京2020オリンピック・パラリンピック」 ・「ジャンル」自然 3回講座 延べ60人(男性19人・女性8人) ・「講座名」楽しいワードウォッチング 11月15日、12月20日、平成31年1月17日(全て木曜日)3回講座 ・「ジャンル」しらか学 4回講座 延べ109人(男性25人・女性9人) ・「講座名」埼玉県東部の民俗～人々の暮らしと祈り・願い～ 平成31年2月7日(木)「低地に暮らす～掘上田と水塚」 2月14日(木)「水の恵みを～水神信仰～」 2月21日(木)「大水からムラを守る～人柱伝承と土手きり伝承～」 2月28日(木)「流れ着く神仏～漂着神信仰～」 	○	○	B

			学び支援課 (図書館)	<p>○図書館主催講座の開催 図書館の利用促進に向けて、各種講座を実施した。 開催日の決定については、各講座のターゲットとなる受講者の年齢層を考慮し、曜日や時間を決定し、参加者の獲得に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月30日(月)、31日(火) 夏休み子ども講座「本の帯・POPづくり講座」参加者 延べ38人 ・1月23日(水)、30日(水) 歴史講座 「『正徳の柴山沼絵図』を読み解く」、「『鷹狩絵図を読み解く』」参加者 延べ38人 ・2月19日(火)、26日(火)、3月5日(火)、12日(火) 文学講座「俳句を楽しむ」参加者 延べ67人 <p>○図書館おはなし会の開催 ボランティアと図書館担当職員との協働で絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う、おはなし会を開催した。</p> <p>金曜日は未就園である0・1・2歳児を対象とし、土曜日は小学生以下の子どもを対象とすることで、幼稚園や学校に通っている子どもたちにも参加しやすい日時設定としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 毎月第2・3・4土曜日開催 延べ参加人数(4月～2月) 大人198人 子ども275人 ・ちいさい子のおはなし会 毎月第1・2・3金曜日開催 延べ参加人数(4月～2月) 大人749人 子ども895人 	○	○	B	
50	女性リーダー、団体の育成	地域で活動する女性のリーダーとしての資質の向上を促し、地域活動の中核を担えるように、また地域で活動している様々な団体が、男女共同参画の視点を持った活動団体となるように働きかけていきます。	地域振興課	地域振興課	○男女共同参画推進委員、ハーブティ編集委員に県等主催の研修会、講座開催について情報提供した。	○	-	C
			生涯学習課	学び支援課	○ペアーズバンク(ペアーズリーダー・ペアーズサークル)登録者(団体含む)に登録情報の更新を通知した。	○	○	B
51	国際社会への理解と交流の促進	男女共同参画に関する国際的な動向を知るとともに、多様な価値観を尊重し国際社会への理解を深めるため、学習資料の収集や外国人との交流の機会を確保します。また、国際交流活動団体の支援や市内の外国人への情報提供など様々な支援を行います。	地域振興課	地域振興課	<p>○市民と市内在住外国人の交流を図るため、国際交流オープンサロンを開催し機会を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度5回実施 6月 フリートーク、8月 白岡まつり(白岡おどり)、10月 フィリピン料理教室、12月 国際交流のつどい、1月 俳句教室 <p>○日本語教室を開催し、市内在住の外国人にとって日常生活に必要な不可欠な日本語学習を支援した。</p>	○	○	B

(2)防災等における男女共同参画

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告((内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
52	防災・災害復興時における男女共同参画の推進	防災や災害時の活動に女性が重要な役割を果たすことができるよう、地域防災計画の策定過程への女性の参画拡大及び防災訓練や防災リーダー養成講習会への女性の参画を促します。また、女性のニーズに対応する防災用品の備蓄を行います。	安心安全課	安心安全課	○平成31年度1月に第10回防災リーダー養成講習会を開催し、女性3名を防災リーダーとして認定した。	-	-	B
53	環境の分野における男女共同参画の推進	持続可能な社会の実現に向けて、環境保全等に関する女性の高い関心や豊かな知識・実践的な経験等をより広くいかす観点から、環境審議会等環境分野における政策・方針決定過程への女性の参画促進を図るとともに、市民参加による環境保全の取組を進めます。	環境課	環境課	○グリーンカーテンの作成を通じて、地球温暖化防止に対する意識の向上を図った。平成30年度は5月16日に100世帯に対してゴーヤの苗木を配布した。 ○環境学習会を開催し、大人も子どもも楽しみながら環境について学べる機会を提供した。平成30年度は7月25日に「東京都水の科学館」と「科学未来館」にて身近な環境問題を切り口に環境学習を開催した。	○	○	B

基本目標4 男女の人権を守る体制づくり

主要課題1あらゆる暴力の根絶

(1)配偶者等からの暴力に対する施策の推進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告((内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
54	DV・デートDV防止のための広報・啓発活動の充実	DVの防止に向けて、講座の開催や情報提供を行い、DVに関する広報・啓発活動を充実します。また、若い世代に向けてデートDVについての意識啓発を行います。	地域振興課	地域振興課	○広報紙、男女共同参画パネル展等においてDVの防止、デートDVについての意識啓発を行った。 ・広報しらおか11月号にDVについての記事を掲載した。 ・男女共同参画パネル「知っていますか？デートDV」を市民ラウンジに展示した。展示期間11/13～11/22 ・成人式出席者へ「デートDV」小冊子を配布した。 ・県バーブルリボン・キャンペーンに参加した。	○	○	A
			教育指導課	教育指導課	○人権研修会でDVの内容(デートDV含)に触れ、教職員の危機意識を高めるよう努めた。(校内人権研修会の実施) ○教職員・児童生徒対象の人権やDVに関する啓発文書の発出や講演会開催の告知を行った。 ○各校においてデートDVを含む人権・道徳教育を実施した。	○	○	B
55	DVに関する相談窓口の充実	安心して相談できる環境づくりを進めるために、相談体制の充実を図ります。また、被害者や周囲の人に早めの相談を促し深刻な被害を未然に防止するために、相談窓口の周知を図ります。	地域振興課	地域振興課	○公共施設等に相談開設ちらしの設置、ツイッターによる相談日のお知らせを行い、相談窓口の周知を図った。 ・相談件数 人権相談13件(うちDV相談0件) 女性の相談室37件(うちDV相談13件) ○広報しらおか11月号にDVに関する記事、相談窓口を掲載し、DVの正しい理解、DV防止に努めた。	○	○	A
			関係各課	市民課	市民課	○DV及びびストーカー行為等の被害者から相談を受け、住民票等の交付制限など戸籍・住民基本台帳事務における支援措置を行った。 (平成30年度に支援措置を行った件数…戸籍事務における支援措置8件、住民基本台帳事務における支援措置15件)	-	-
56	DV被害者の緊急一時保護と自立の支援	緊急に保護を求めてきた被害者が婦人相談センターや民間シェルターに一時保護されるまでの間、避難場所の提供や同行支援などにより、被害者および被害者が連れてくる子どもの安全を確保します。また、DV被害者が自立した生活を始めることができるよう支援を行います。	地域振興課	地域振興課	○婦人相談センター等の関係機関と連携するため、研修会、情報交換会等に参加した。 ○親子の心の回復と自立を支援する心理教育プログラム「びーらぶ」の実施について、広報紙で情報提供した ○緊急一時保護件数 0件	○	○	B
			関係各課	関係各課				
57	関係機関との連携	DV被害者に対する支援を全庁的に行うため、庁内DV対策連携会議で情報共有と連携を図ります。警察、県、民間団体等庁外の関係機関との連携についても検討します。	地域振興課	地域振興課	○DV関連の情報について、関係各課との連絡調整を密に行い、情報を共有し、支援の充実に努めた。 ○住民基本台帳事務に置ける支援措置申出者へ支援措置の内容等について理解していただくための確認チェックリストを作成した。	○	○	B
			関係各課	市民課	市民課	○庁内DV対策連携会議には参加していないが、随時、人権担当及び関係各課と連携を図り、支援体制の強化を図った。	-	-

(2)子どもや高齢者に対する暴力を根絶するための取組

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告((内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
58	子どもの人権についての啓発の充実	児童虐待は子どもに対する著しい人権侵害であることから、子どもの人権や児童虐待防止について広報・啓発活動を行います。	教育指導課	教育指導課	○職員会議・研修会等で児童虐待について協議し、教職員の危機意識を高揚に努めた。 ○教職員・児童生徒対象の虐待や育児放棄等に関する啓発文書の発出や講演会開催の告知を行った。 ○庁内各課・児童相談所との情報共有・連携に努めている。	○	○	B
			子育て支援課	子育て支援課	○主任児童委員の協力を受け、11月5日(月)に、児童虐待防止キャンペーンの一環として白岡駅で啓発品を配布した。広報等でも周知を行い市民の意識啓発を図った。 男性6名、女性11名参加予定。	-	-	B
59	要保護児童対策地域協議会の充実	虐待の早期発見・早期対応のため、地域の関係機関と連携し、支援体制の強化を図ります。	子育て支援課	子育て支援課	○代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を開催し、要保護児童の支援の進行管理等をし、虐待の早期発見・対応を図るとともに関係機関と更に連携を強化していく。 代表者会議 男性10名、女性15名(当日男性3名欠、女性2名欠) 実務者会議第1回目 男性10名、女性22名(当日男性1名欠、女性7名欠) 実務者会議第2回目 男性7名、女性7名(全員出席) 実務者会議第3回目 男性5名、女性7名(全員出席) 実務者会議第4回目 男性6名、女性5名(全員出席)	-	-	B
60	高齢者への虐待防止対策の推進	地域包括支援センターを中心に地域との連携を図り、高齢者虐待防止の啓発に取り組んでいきます。	高齢介護課	高齢介護課	虐待案件状況(地域包括支援センター報告分)※延べ人数 高齢者の権利を守るため、関係機関との連携・協力、権利侵害を防止するための情報提供。 ■相談(新規・継続・延長):19件 ■訪問(新規・継続・延長):12件 ■立会い:1件 ■緊急措置:1件	-	○	B

主要課題2 あらゆる形の嫌がらせ行為の防止
セクシュアル・ハラスメントやストーカー行為等の防止の取組

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告((内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
61	セクシュアル・ハラスメント防止の啓発	職場、学校、地域等あらゆる場におけるセクシュアル・ハラスメントを根絶する意識づくりに向け、研修会等で意識啓発を行います。	地域振興課	地域振興課	○各種委員の会議等の際、機会を設けてセクシュアル・ハラスメントを始めとしたハラスメント防止についての意識啓発を図った。 ・職員や各種委員を対象に実施した人権・同和問題研修会の実施 4/2新採用職員 14名、7/19主査級以下職員職員 109名、8/17民生・児童委員 101名、2/25農業委員 18名、行政区長43名 ・女性の相談室相談件数37件(うちセクシュアル・ハラスメント相談1件)	○	○	B
			商工観光課	商工観光課	○商工会が開催する事業者向けの会議等において、国や県から提供されるパンフレットを配布し、情報提供を行った。	-	-	B
62	ストーカー行為等の防止の啓発	ストーカー行為、モラル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント等あらゆる形の嫌がらせ行為防止のための情報提供、相談体制の充実を進めます。	地域振興課	地域振興課	○ストーカー行為やモラル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等あらゆる形の嫌がらせ行為防止のための情報提供、相談体制の充実を努めた。 ・職員や各種委員を対象に実施した人権・同和問題研修会の実施 4/2新採用職員 14名、7/19主査級以下職員職員 109名、8/17民生・児童委員 101名、2/25農業委員 18名、行政区長43名 ・女性の相談室相談件数37件(うちストーカー相談0件)	○	○	B

基本目標5 計画推進の体制づくり

主要課題1 市民との協働による推進体制の整備

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告((内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。)	意識・配慮度		達成度
						①	②	
63	しらかば男女共同参画推進会議の運営	知識経験者、団体推薦、公募の市民等によって構成される推進会議で計画の進捗状況を点検し、施策に対する提言を行います。	地域振興課	地域振興課	○7/12 第1回しらかば男女共同参画推進会議(女性政策庁内推進会議と合同会議)を開催し、第4次白岡市男女共同参画プランの施策推進のための取組にかかる平成29年度実績報告を行い、委員から提言等をいただいた。11/16 第2回しらかば男女共同参画推進会議(女性政策庁内推進会議と合同会議)を開催し、第4次白岡市男女共同参画プランの施策推進のための取組にかかる平成30年度中間報告を行い、委員から提言等をいただいた。	○	-	A
64	地域の市民活動団体等への支援	男女共同参画などを推進する市民、事業所、団体、グループ、NPO等との連携や支援を行い、市民と市が協働して男女共同参画の推進を図ります。	地域振興課	地域振興課	○先導的な協働のまちづくりのモデルとなる協働事業に対して補助を行い、協働を担う市民団体の育成及び協働の土壌醸成を図った。 ・行政指定テーマ事業:3事業採択 ・市民提案型事業:2事業採択	○	○	B

主要課題2 庁内推進体制の充実

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告((内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。)	意識・配慮度		達成度
						①	②	
65	女性政策庁内推進会議の活動の充実	プランの推進状況の把握や研修会等を実施し、全庁的に男女共同参画の推進を図ります。	地域振興課	地域振興課	○7/12 第1回女性政策庁内推進会議(しらかば男女共同参画推進会議と合同会議)を開催し、第4次白岡市男女共同参画プランの施策推進のための取組にかかる平成29年度実績報告を行ったほか、男女共同参画研修を実施した。11/16 第2回女性政策庁内推進会議(しらかば男女共同参画推進会議と合同会議)を開催し、第4次白岡市男女共同参画プランの施策推進のための取組にかかる平成30年度中間報告を行った。	○	-	A
66	指定管理者等に対する男女共同参画意識の啓発	男女共同参画や人権についての意識を高めるために情報提供、研修等への参加を促進します。	地域振興課	地域振興課	○7/19開催の人権・同和問題職員研修会、1/30にLGBT職員研修に指定管理者の参加を図った。	○	-	A

主要課題3 庁内の男女平等施策の推進

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告((内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等) ※未実施の場合は、その理由を記入してください。)	意識・配慮度		達成度
						①	②	
67	女性職員の管理職等への登用促進	庁内における方針決定過程への女性の参画を推進するため、昇任試験の受験奨励のための環境整備やプロジェクトチーム等への女性の登用を進めます。	総務課	総務課	○昇任試験受験対象者を中心に、昇任試験科目に見合う研修への積極的な参加を促した。 ○多様な人材が活躍できる組織づくりに向けて、総務課職員の研修参加も検討したが、参加できなかった。	○	○	C
68	男女平等を推進するための職員研修の充実	職員が男女平等の視点で職務を遂行できるよう、研修の充実と講座等の情報提供など参加の促進を行います。	総務課	総務課	○他機関で実施している研修について周知し、職員の参加促進に努めた。 彩の国さいたまづくり広域連合が7月30日に実施した「女性職員活躍支援セミナー」へ1名出席した。	○	-	B
			地域振興課	地域振興課	○県等主催の研修会、講座開催について情報提供した。第1回女性政策庁内推進会議(しらかば男女共同参画推進会議と合同会議)の際に、男女共同参画研修を行った。	○	-	B
69	次世代育成支援特定事業主行動計画・女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画の推進	職員自らが男女ともに育児休業や部分休業の取得、年次有給休暇取得率の向上によりワーク・ライフ・バランスを実践し、より多くの女性職員が政策・意思決定過程に参画できるよう全庁的な支援体制や職場環境整備を推進します。	総務課	総務課	○育児休業等が取得しやすいよう、職員や職員の配偶者の出産にあたり、制度説明を行うとともに、環境整備に努めた。 平成31年3月31日現在の育児休業等取得者 育児休業11名、育児短時間勤務3名、部分休業9名(全て女性であり、男性取得者0名) ○年次有給休暇取得率の向上のため、機会をみて取得促進の通知を发出了。	○	○	B
			地域振興課	地域振興課	○男女共同参画パネル展において、情報提供を行った。 6/20～6/27市民ラウンジにおいて「統計に見る仕事と生活のいま」を展示し、職員へのワーク・ライフ・バランス実践の啓発も図った。	○	-	C
70	職務・職場の固定的性別役割分担意識の見直し	職務・職場で固定的な性別役割分担が行われないよう、職員等に対して継続的に啓発を行います。	地域振興課	地域振興課	○県等主催の研修会、講座等について情報提供した。 ○市民ラウンジにおいて男女共同参画パネル展を実施した。 「統計に見る仕事と生活のいま」(6/20～6/27)、「荻野吟子の生涯」(7/20～7/27)「知っていますか?デートDV」(11/13～11/22)、「わたし」の防災対策」(3/5～3/15)	○	-	C

主要課題4 男女共同参画を推進するための条例の整備

番号	施策名	事業内容	当初担当課	報告課	平成30年度実績報告（内容・効果、実施日、参加者数、意識・配慮、反省点等） ※未実施の場合は、その理由を記入してください。	意識・配慮度		達成度
						①	②	
71	(仮称)男女共同参画推進条例の検討	男女共同参画社会の実現に向けて、市全体の取組の姿勢をより明確にするとともにプランの実効性を高めるため、男女共同参画推進条例の制定に向けて検討を進めます。	地域振興課	地域振興課	○男女共同参画の意識の働きかけとして、全庁調査(プランの実績報告や審議会等への女性委員の参画率等の調査)にあわせて啓発を行い、市民に対してはプランの推進状況を広報紙,市公式ホームページで周知した。引き続き、更なる男女共同参画の意識の醸成を図っていく。	○	-	C